



北環整発第 988 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

北郷町長 倉岡 清



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成 20 年 9 月 19 日付、国道企第 37 号にて依頼のありました
標記の件につきまして、別紙のとおり報告します。

（文書取扱 環境整備課）

先の中期計画では、道路整備に必要な道路特定財源と国民や各地方団体の意見を踏まえ、国土交通省の政策課題と評価により、総合的にまとめ策定された計画であります。本年度5ヶ年中期計画に策定変更される場合にも重要な政策課題として、基幹ネットワークの整備（高規格幹線道路）、地域の自立と活力の強化（生活幹線道路の整備）、安心安全の確保（交通安全に配慮した道路づくり、橋梁等の維持・修繕・延命化対策）など、地方の意見を十分に反映していただきたい。

特に、基幹ネットワークの整備中「高規格幹線道路整備」の中で、東九州高速自動車道（日南市～南郷町～串間市～志布志市間）の早期整備は、関係する市町の永年の悲願でありまして、昨年の中期計画素案の中の点検結果におきまして、一部現国道を活用しながら少ない投資で最大限の効果を上げる高速道路ネットワークを形成する整備手法で決定していただいたことに対し、関係町として大変喜び、積極的な事業の実施を大いに期待したところであります。このことは、現在国土交通省において、検討のことと思いますが、地方にとりまして不利な評価指標ではと懸念されます。

従いまして、高規格幹線道路の点検作業における評価指標の中の費用対便益の算出に当たりましては、将来交通量の推計により、貨幣価値に換算された従来の社会的便益（走行時間短縮便益・走行経費縮小便益・交通事故減少便益）だけではなく、都市部と地方部の格差是正のための、救急車両搬送時間の短縮による「救急救命上昇便益」や台風・豪雨等の被災に伴う通行止めなどの規制による時間ロスに対する「通行規制解消便益」、更には、高速道路整備により、地方の地場産業・地域振興等の効果による便益（例えば南九州の特性と今後の地域振興に資するため発生する「食糧供給向上便益」「企業誘致・経済振興向上便益」「観光振興向上便益」などの便益）、また地球規模において、CO₂減少による「環境改善向上便益」といったものを評価指標に加えた頂き、地方の道路整備の必要性を重ねて要望するものであります。

○現 状

今日の社会経済情勢の高度化に伴って、ますます多種多様化する行政ニーズや地方分権の進展に伴い、自らの創意と工夫のもと豊かな地域社会の形成が求められます。この中であって、地方においては、地理的ハンディや少子高齢化の進展により過疎化に歯止めをかけることが最重要の課題であります。このためには、高速道路を中心とした交通網の整備の格差是正がなされ、初めて同じ土俵に立つことができ総合的なまちづくりができるものと考えます。

○課 題

今日のめまぐるしい社会経済情勢の変化や人々の価値観の多様化等を充分踏まえ、本町の特性を活かした創意工夫による各種の施策の実施が重要であります。

このためには、高速道路網を基盤とした地場産業振興の強化、企業の誘致、少子化対策、緊急医療対策、観光振興対策など、地域特性を活かした積極的な施策の展開が課題であります。

(東九州高速自動車道整備による期待と効果)

本町の目指す、「安全安心のまちづくり」、「地場産業の振興」、「企業誘致活動」、更には「観光振興」など総合的なまちづくりをこれまで以上に推進できる。

◎安全安心のまちづくり

近年、高度な医療を求めて、宮崎市、清武町、日南市に急患として搬送機会が増大している。高速道路は、安全で安定した走行を迅速に行えるため、搬送時間の短縮が可能で、その結果相当の救命率が向上する。

また台風、豪雨等による国道220号は、土砂崩れによる長期間交通止めが特に多い路線でありまして、特に日南市富士地区においては、陸の孤島になってしまう。一度、壊れると長期の通行止めになり、住民生活に多大な支障出る場合が多い。

以上のような状態が解消できる「安心」・「安全」が確保された生活を提供できる「命の道」の構築は何事にも優先します。

◎地場産業の振興

南九州地域は、農林水産物としての役割を担っております。特に日本一早い超早場米やマンゴーの果樹類。水産物としてのブリ・カンパチなどの養殖産業、更には林業に代表される飢肥杉等豊富な農林水産資源等を有しており、これら安全良質な農産物をいち早く消費地に届けるため、短時間輸送の実現と市場の拡大が展開可能となり、地域の活性化に大きく寄与できます。

◎企業誘致活動

企業誘致による就業機会の増大と人口の増加は、過疎からの脱却するため永年の課題であり、企業誘致活動の中でも、交通アクセスの整備されていない地域は、すぐに断られる状況もあります。このことは、高速道路の有無が重要な要素であり、高速道路整備により、積極的な企業誘致の活動、更には企業の立地が促進でき、地域活性化が図られます。

◎観光の振興

県南地域は、日南海岸国定公園、県立鰐塚自然公園や温泉など恵まれた自然と地域の特性を有している。

多様な観光資源の宝庫であるが、交通アクセスが悪く宮崎市より車で約1時間かかり等のハンディがあるため、積極的なPRを行っているにもかかわらず観光客の足が遠のいている。

従って、高速道路の整備により、所要時間の短縮が今まで以上に図られれば、おもてなしの心と、ゆったりとした癒しの空間を提供することにより、リピーターを含めた観光客の増加と観光振興のまちづくりがこれまで以上に推進できます。

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他、意見
基幹ネットワークの整備	東九州高速道（日南市～南郷町～串間市～志布志市） 約41kmの早期整備について	高速道路は、国内を循環型の高速ネットワークを形成し、地方の自立ある発展に資する地域間の交流、連携を促進するばかりでなく、災害時の代替であるとともに、緊急医療においては、患者の生存率を向上させる「命の道」となる重要な社会資本であります。	高速道路の建設は、長期間を要する事業であります。特に日南市から志布志市間は、先の中期計画の点検時に一部現国道を利用し、整備を促進する区間に位置づけられ、国におきましても限られた道路整備財源により、最大の投資効果を求められる区間でもあります。
安全安心の確保	国道220号の災害に強い道路づくりと観光振興のまちづくり	最近では異常気象を含む台風等により、度々地滑りが発生し交通止めを余儀なくされ、関係する住民は、一時的孤立したりと日常生活に不便を期す状況であります。 また、迂回路として日南市と本町を結ぶ市町道がありますが、本路線についても同様の状況であり迂回路になりえない。	従いまして、選択と集中の基本方針に基づきまして、優先して整備する区間の設定を早期にさせていただき、一日も早い着工を希求するものであります。
道路景観の確保	東九州高速道建設の法面の景観形成	本線の建設に当たって、県道等と一部平行して計画されていることから、その法面を植栽等することにより「風景街道」として活用できないか。	